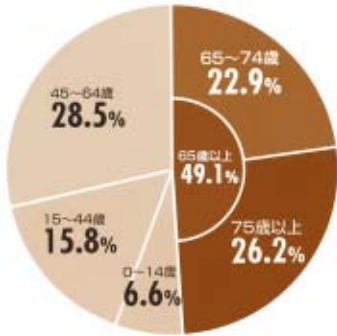


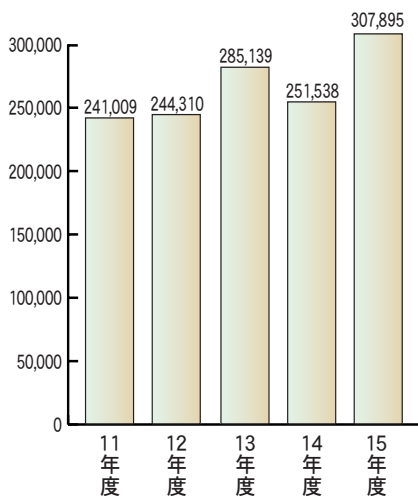
〈グラフ1〉全国の年齢別医療費の構成割合



資料：厚生労働省「平成13年度 国民医療費」

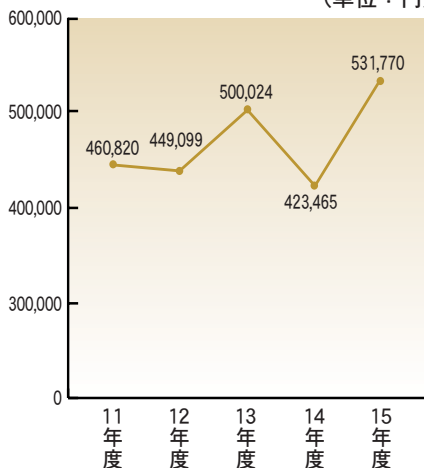
〈グラフ2〉老人医療費の推移

(単位：円)



〈グラフ3〉1人当たりの老人医療費の推移

(単位：円)



住民税非課税世帯の皆さんへ

○入院したとき

「老人医療の限度額適用・標準負担額減額認定書」を医療機関に提示すれば、入院時の患者負担限度額や食費負担が少なくてすみます。

詳しくは、役場保健福祉課 35-2114 (内線145) までお問い合わせください。

みんなで
考えよう

老人医療費



医科診療所で診察する工藤正一郎所長

毎年増えていく国民医療費。なかでも高齢者人口の増加により、老人の医療費が年々増える傾向にあります。老人保険制度は、国民みんなで医療費を出し合う制度です。高齢社会に適應できる医療保険制度を維持し、安心して医療を受けられるように、みんなで考えてみましょう。

村の老人医療費は一人当たり約53万

村の老人医療受給者は、平成十五年度で五百七十九人、老人医療費(老人保健特別会計決算)は三億七百八十九万五千元です。医療費を前年と比較すると、約五千六百三十五万七千元、22・4%も増えていきます(グラフ2)。

一人当たりの医療費は約五十三万二千円、約22・5%伸びています(グラフ3)。

老人保健の医療費に使われる財源は、国、県、村が負担

しているほか、各医療保険の加入者が納める保険料や保険料で支えられています。老人医療費の増加により、受給者本人の負担も大きくなっていますが、なぜ、老人医療費が問題になるかというと、それは老人医療費が若い世代にかかる医療費よりずっと高いからです。

これは、高齢者に生活習慣病と呼ばれる、高血圧症、心臓病、糖尿病などが多く、療養期間が長くなるからです。したがって、医療費が増えれば増えるほど、皆さん自身の負担となって跳ね返ります。

生活習慣を見直し 皆で医療費を節約

病気になるたとき医療機関に通うことは当然のことです

す。しかし、病気が長引くと心配になり、医療機関を変えたりすると、また最初から同じような検査が繰り返され、医療費が膨らんでいきます。

これは高齢者に限ったことではなく、若い世代にもいえることです。これからはみんなで正しい生活習慣を身に付け、健康な毎日を送ることが、病気の予防になり、医療費の節約にもつながってきます。

みんなが健康な毎日を送るため、①かかりつけ医を持つ ②治療よりもまず予防に心掛ける ③栄養・運動・休養の「健康三原則」を守る ④同じ病気でいくつも違う病院にかかるのはやめる ⑤健康診断を積極的に受ける——を心掛け、高齢者も高齢者以外の世代も、病気の予防に務めることが大切になってきます。